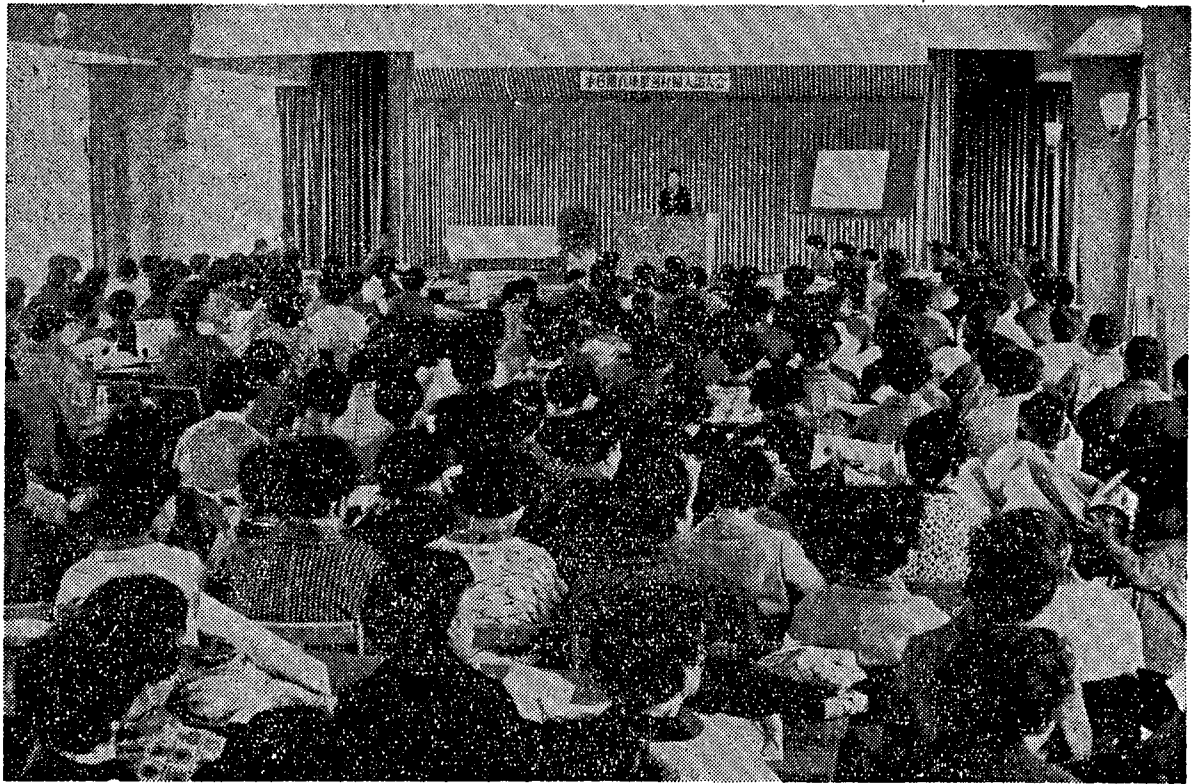


# 拓水

第六三号昭和卅六年十一月十五日発行  
毎月十五日一回発行 一部 十円  
昭和卅二年十月十八日 第三種郵便物認可

十一月



(第6回兵庫県漁業協同組合婦人部大会)

兵庫県漁業協同組合連合会  
財団法人 兵庫県水産業改良普及協会

漁業今昔

いわしの巻 (19)

平岡安民

元山の漁業王

この漫談的回顧録も、下手の長談

義となつて文字通り紙面をよごすだけの役割しかつとめて居らぬのではないかとも思う。それに先頃どうせ埋め草であるからと明かると、老漁夫の大漁ばなしということになつても、別に功名談というイヤ味もあるまいと心得て、大分ならべた次第あしからず。

昭和十七年春初めて陸路元山に赴いた。佐々木さんは

「あんたにはどこかで逢つたような気がしますが。」と私に私の顔をしげしげと見つめた。それもその筈巾着組合の指導船の中で、初対面早々から議論めいたやりとりがあつてこの組合長をケムリに巻いた記憶がある。

「東鷗丸でお目にかかりました。」

長箭で。」

「ああそうそうあのときは大分の気焔で、あてられましたよ。」

「いやどうもお恥づかしいことです。何分未熟者ですからよろしくお願ひします」もう雇われ人の立場であるから神妙にお辞儀せねばならぬ。

「いやいやあんたの抱負とやらを十分に生かしてやって見て下さい。」あまり悪い印象がのこっているのではないようだと一先づ安心する。話はお多分にもれず時局の事になり、更に事業談人生談に及んでも、ひたすら謹聴する外ない。

「あんたは下戸でも、これならやれん事はないですよ。」

こう云つて勤められたのは自家水田から撰んだ米を、自営醸造場で仕込んだ、特超級の酒であるらしく、芳醇ということばが初めてピッタリするような、それは濃やかな風味で

三菱タイヤディーゼル

漁船用三菱タイヤ

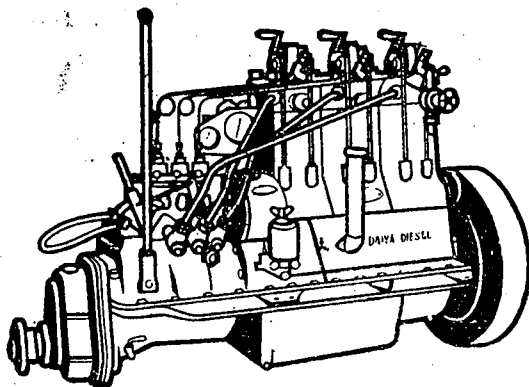
3～60馬力

調子は天下一品

力は横綱

特徴

- 1、信頼性 耐久性が大きい
- 2、取扱簡単で始動が容易
- 3、油が経済的



総代理店

(株) 山陽タイヤ商会

神戸市兵庫区東柳原町70 電話5-1125

営業所 松江市・笠岡市・児島市

あった。これをくみ交わすうちに、私もいつしか持ち前の屁りくつの一つもならべるようになったが、佐々木さんは益々上きげんで、意気投合というような間柄が、たちまちのうちに出来上ってしまった。交際ぎらいの私には珍しいことである。この人は巾着船四統の外、大型漁船機帆船など五十隻も持って居り海陸各方面の事業はかなり大きなものであるが、それにもかかわらずボス臭味などがなく清潔な感じのする人であった。毎朝寒中でも四時に起きて事務室に現れ掃除からぞうきんがけまで自らやっけてのける。そして人々が九時頃出勤するときは、もう一日分くらいの仕事を決ましている。それで主人はそんな頑張りなどというものを人に強くないし、事務室の人々もそのため遠慮するということがない。極めて自然である。一代に巨富をきづく人だけであって風骨言動すべてに非凡なひらめきがある。

佐々木夫人は大きな世帯の裏にあつて、台所から来客の接待まで鮮やかに切つてまわし、片手間に家族の古い履物の鼻緒まで自らの手で修理しているのを、かいま見たことがある。「これあるかな。」私はひそかに

膝をうって感歎した。三軍を叱咤する將軍の風才ある主人のぞうきんかけと相俟って、淑やかで上品なこの夫人の、更にかくれた人間味と奥ゆかしさを見とどけた感じがした。そして事業の成功も故なきにあらずと痛感するのであった。

いわしは減ったと云い条、もう気の早い組は何統か出漁して、はでな漁の情報は次々とはいって来る。一ヶ月の準備も終り我が第二、七宝丸船団もいよいよ明日出勤という日のことである。網を積み終つて、乗組員に酒が振舞われた。漁夫はトモで幹部はオモテで乾杯意気大いにながったまではよかつたが、機関長があまりいけぬ酒をすすめられて少し過ぎたようだった。それかあらぬか船を繋留し直すため機関を起動した時手許がくるって急回転をやった。シリンダー四六五ミリに対してクラシクノポートが二五ミリしかないこの機関は、これまでもポートの折損で大故障を起こしたことがある。この時も瞬時にシリンダー三個まで大破し修理不能の有様となつた。今年こそ業界第一等の成績を上げて、日頃の溜飲を下げんものと張切っていた私はもとより、出来たことは仕方ないさと云つて平然としてい

る主人唯一人を除いて関係者一同痛棒をくらった形である。

仕方がないので減船整理に加わつて廃業してつないであつた鶴丸という四十トン位の小さな船を見つけてきて、これを修理して故障の七宝丸に代用することになった。この船では現在の新鋭優秀船と太刀打ちは望むべくもないが、それでも操業開始となるとあまり遜色ない働きを示した。或時七宝丸に使うタモ綱をそのまま使っていたので、いわしをくみ上げるとき五十トン余りもはいつたろう、これは危ないと思つていると果して横波のためもある、いわしを半分つり上げた時船が右に四十度以上も傾いて、舷側は三尺も海中に没し、乗員の半数は泳ぎまわるといふ危険状態に陥つたこともある。やがて他船を上廻る漁獲を上げるようになったけれども、その量は前年のそれにくらべると格段に少ないものであつた。いわしは食べるものでなく肥料であり油であると思われていたのが、今はすべて貴重な食料品となり、營養不足で戦争どころか生きていることさへ、むつかしくなっている日本国民にとっては、随善の糧に値するほどにまで、貴い命の糧であつた。もはや火薬用のグリセリン

## 目次

漁業今昔

いわしの巻 (19)

平岡安民……………1

漁協婦人部活動状況の概要……………4

やさしい

漁船機関基礎講座①

水試 杉本技師……………6

昭和三十六年八月の  
海面漁業漁獲量の概要  
農林省兵庫統計調査事務所7

をとる前に、人間の息の根を保たんとするための塩いわしとなり、魚粉となった。

ところが悲しむべきことには、この残り少ないいわし資源もいよいよ底をついたことが証明されたのである。この年のいわしは五年六年という老成魚ばかりで中羽以下のものは全然居らない。あとにつづく若い魚が居らぬという事は、いわし絶滅近しという赤信号となって業界を打ちのめした。

この兆候は前年から現れていたのにも一部の識者を除いては、減船問題なども戦争による資材難労働力難で不本意ながら実行を迫られたもので、こうもあつげなく事業の終幕が訪れようとは思ひも及ばなかったのである。大正十二年以来無尽の宝庫といわれた大資源と、水産業界を風靡した大産業は二十年の後凋落の秋を迎へ、多くの人々を狂奔させたこの小さな魚はその姿を消して行った。

「敗けいくさになると、いわしまでが日本を見捨てた。」この絶望をそう諷した人もある。

それでも一部あきらめかねた人々

は「魚群の回遊経路が変わったのだ。来年あたりから持ちなおすかも知れ

ん」と強いて楽観論をとなえ、又一面において食料確保という要請もあって次の年も大変な困難を排して操業した船もあつたけれども、結局絶望の事実を見きわめたに過ぎなかった。

私がさんま網で成南に出漁した時群仙という所に小さな家を借りて家内と下の子どもが来ていた。佐々木さんが一日此地の事務所へやって来たことがある。いつも元山へ行くたび接待をうけているので、一度食事に招待しようという話が出た。

「こんな田舎で物資欠乏のときに何一つ買うこともできないのに、何を馳走したらよいでせう。」

家内ならずとも、頭をいためるのが当然である。

「そこが佐々木さんだから楽なんだよ。ヤミの牛肉をさがしに行つたりせずとも、サンマで済ませるのさ。」

「まさかサンマの塩焼一本ではあんまり失礼ぢやありませんか。」

「例のにぎりずし、シウウガでも見つけてきたら結構いけるよ。それにホウレン草のあれよ。」

あれというのはホウレン草とサンマとを丸く巻いたのをフライに揚げたものだ。家内は一寸驚いていたが

私はこの人に対しては、なまなかタイの焼物などすすめるよりも、これに限ると信じていた。

サンマの長さだけに細長く横たわる一寸グロなにぎりずし、これを適度に鉋丁を入れて一とつまみの大きさにしてある。この野趣ある長大なすしには佐々木さんも少したぢるいだようだが、頬張ってみて、

「なるほど、サンマがこうまでうまく食べるものだとは、今まで知らなかったですよ。」こういって満悦で大いに食ってくれたので家内もホツとしたようであった

「いわし漁業はもうやめる外ないが、是非うちへ来て働いてくれませんか、傍ら自分で何か事業をやられるのも結構です。」極力すすめてくれた。私は身に余る値遇と感謝しながらも断る気になった。私如きものを信用したとか何とかいうのではなく、戦時で人間が足らなかつたからである。それを知っていたばかりでなく、私はその頃内地へ引揚げるつもりになつていた。父が在世中いつも帰ってこい帰ってこいと、うるさく云っていた。学歴も財産も何もない田舎へ帰って行って食う方便もないのに無性に帰れ帰れという父を冷

笑していた。父が生きているうちは耳も仮さなかつた私が何故ともなく強いていへば父の気持がそのまま乗りうつたように、むやみと引揚げを考へるようになっていた。私の意識の底に、いわしの居らぬ朝鮮に魅力を失つたということがあつたのかも知れない。昭和二十年冬、

「内地を占領されたら、満州に立てこもつて徹底的抗戦をやる。」こんな強いことを云っている人々に對して、私といへども同感でない筈はない。それにもかかわらず、敗戦の予感もなくはなかつたが、そんな具體的な理由があつたことではなく、ただ見切り時という気分が先立つて故郷へ帰ることにきめた。そして、佐々木さんとも心ならずして袂をわかつことになり、図らずも、北鮮に転居してシベリアに引ばり出されて凍死させられる運命だけは免れた。

佐々木さんは、

「戦争完遂には先づ石油獲得が先決だ」という持論を実践に移して、機帆船五十隻の船団を組織して駆逐艦護衛のもとに南方に重油積み取りに行くという計画を立て、自らその陣頭に立つて指揮して居られたが、終戦と共にボルネオの奥地で消息を

絶ったと伝へられた。いかなる結末をたどったか詳しくは聞かぬけれども、たとへ生還の方途があったとしても、多数の船と乗員を失った後に自分が身を全うして帰国することはこの高節の士としてなし得なかったのではあるまいかと思う。有能の人は南溟に玉と砕け、凡骨は敗残の姿を故郷にさらすことになった。

吹雪の玄界灘は敵潜艦の目をのがれるには絶好の機会。  
「これならアメ公も出てこいつたつて出られない。今頃はフカ見たいに底の泥に腹をへばって寝てるよ」  
「アハハハハハ」  
「いい天気だなあ。」  
「いい天気デジネー。」  
(この巻終り)

### 漁協婦人部活動状況の概要

#### 婦人部名 月 日 実施事業の内容

津居山港	一〇、五	定例販売
竹野浜	二四	役員会
柴山港	二九	広島県の漁協婦人部のグループとの交流
香住町	二八	同 右
余部	三一	月給制グループの例会
三尾	一	河川及び道路の清掃
	六、一八、二五	河川の清掃
浜坂	二	役員会、話し合いグループ(三カ所)
	七	月例販売
	一八	浜そうじ
諸寄	二四	役員会、話し合いグループ(三カ所)
	五、一五、二五	定例販売
但馬漁婦連	二一	評議員会(県大会の件、岩のり改良について)
神戸市西部	一六	役員会
明石浦	三	お祭り用品(食料品)販売
	一五	日用品定例販売
		一日より三二日まで暖房器具販売

林崎	六	お祭り、運動会用食料品販売準備
	七	同右の販売
屏風浦	二九	役員会(電器製品の取扱について)
	五、一〇、一五、二五	日用品定例販売
東二見	一七	映画会の開催
	一八	お祭り用品の販売(衣料、食料品)
西二見	二二	リクレーション(観劇)
明石市漁婦連	一三	高知県婦人グループ技術交流
洲本	六、一九、三〇	グループ活動(あみもの講習会)
炬口	二〇	役員会(購買品の取扱について、他県との技術交流について)
	二六	千葉県と技術交流
生穂	二七	広島県と技術交流
	二四	役員会(本年度事業の実施について)
	二九	料理講習会と映画の会及び座談会
飯屋	一〇、二二、二八	グループ活動(あみもの講習会)
	二六	千葉県と技術交流
	二七	広島県と技術交流
育波	三、一〇、一七、二四、三一	(グループ活動)家庭教育のためにローマ字をおぼえよう
	一〇、二二、二〇、二八、三一	(地区別活動)毎日の食事ごしらえに気をくばろう
都志	六	グループ月例会(今後のグループ活動のあり方について、家庭カルピスを作りました)
	一四	料理講習会(洋食を学ぶ会)
那家	一一、二二、三一	日用品の販売
	二四	グループ活動(今後のグループ活動について)

(注) 第六回兵庫県漁業協同組合婦人部大会の記事につきましては次号に掲載する予定であります。

弱った部分から折れて同様の事故を起す。また弁とシートとのあたりが悪いとガスもれして過熱しやすいから、時々開放して調べ、丹念にすり合わせしておくことが必要である。このほか電着の場合、弁自体の材質不良による折損が案外多く、いくらつけかえても同じ部分からすぐ折れることがよくあり、購入する時にはよく吟味して、あまり安いものや間に合わせ的なものは絶対使用してはいけない。バルブによっては弁棒とバルブ尖端部とが一体でなく別に熔接したものがあり、折れるのもこの種のものに多い。また現在は少ないが、松根油などを使用していると過熱することが多く、バルブやカバーの破損事故も起り易い。さらにスプリングの強すぎ、ローラクリヤランスの狭すぎ、バルブリフトの大きすぎ等の場合にバルブ折損を起す。

### シリンダー

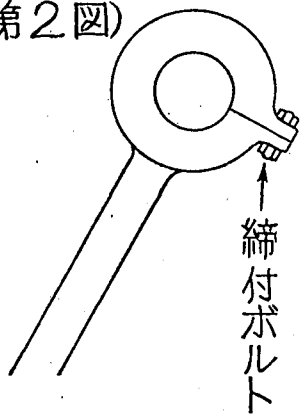
(材 質) 特殊鋳鉄

(主な故障) 1. 亀裂、破損  
2. 磨耗

(説 明)

1については、大体カバーの時と同じ原因が考えられる。つまり鋳物巣とか、冷却水の不足による過熱、内外筒及び上下部の温度差による不同膨張等による原因が多い。小型電着でガジョンピン締付ボルト(別図2)のゆるみによりピンがあそびシリンダーに深い搔き疵を生ずることがある。

(第2図)



最近では電着機関もどしどしディーゼル化しつつあるが、残っている中には相当古いものがあり、20年~30年位経過したものがある位で、上記の如く構造も粗雑にできており材質も悪いため、思わぬ事故を起すことがよくある。大体シリンダーが

大きく破損する場合は内部の事故、つまりガジョンピン折損、クランクシャフトやロッドの折損等の関聯事故によることが多く、たまにはシリンダー取付ボルトのゆるみに気付かず、急激な振動等により下部が大きく破損することもある。この取付ボ

ルトについては、後部は気がつきにくく、時々テストハンマーで点検しておくことが大切である。

### 2の磨耗について

これは故障というより自然消耗に起因するものであるが、不良油の燃焼、オーバーロードによる長時間運転、バルブ開閉時期の不適、ノズル、燃料ポンプの故障、冷却水不足等、これらから生ずる不良全燃焼によりシリンダー内にガスが堆積、これを磨擦して潤滑効果を鈍らせ、極度に磨耗を早めることは多い。これには前講で述べた如く、水、煙、油の三原則を忠実に守っておれば、そんなに早くスいて馬力が急に落ちるというものでなく、メーカーの示している時間までは無理としても、それに近い時間まで十分ボーリング(ライナー交換)なしで運転できる筈である。

### ピストン、ロッド、ガジョンピン

(材 質) ピストン…シリンダーと同種鋳鉄  
ロッド……鍛鋼  
ピ ン……肌焼鋼

(主な故障) ピストンの破壊、キズ、ロッドの湾曲及び折損ピン湾曲、片ベリ等

これもシリンダーの場合と同じくピストンのみが故障することは殆んどなく、他の部分との関聯故障に起因するものである。つまりピンボルト折損、クランク軸折損、前記のバルブ落ちこみによる破損等が原因となり起りうるもので、夫々の頃で詳述する方が適当だと思われる。ロッドの場合も同じであるが(関聯事故)上下メタルの磨耗または潤滑油不足によりメタル熔解等により、間隙が大となり、ノッキングを起して湾曲することが多い。又、ガジョンピンメタル締付ボルトのゆるみから上部は湾曲、下部はメタル裏金部等から破損することがある。特異なケースとし小型電着に砲金製ロッドを使用しているものがあるが、各季の温度急冷、夏におけるシリンダー内の過熱により収縮伸長の差により、折損または湾曲するものがあつたように過去の実例で記憶している。ガジョンピンもたまには抜いてみるとよい。過熱によって焼(ヤキ)が戻っているものがあるから注意を要する。これを調べるにはヤスリでこすってみると分る。キズがつくようではピンとしての価値がない。

(つづく)

やさしい

# 漁船機関基礎講座 ⑪

水 試 杉 本 技 師

初めてディーゼルを取扱う人のために ④

## 故障の実際と対策

ディーゼルと電着はともに4サイクルであり、その作動機構は相似しており マグネトーや電気まわりは別として各部の故障について原因は大体同じようなものと考えてよい。ただ材質上及び精密密度からみるとディーゼルの方が遙かに上等なので、電着にはよく発生してもディーゼルには殆んどみない故障も多いわけだが、故障に対する心構えとして同系統のものなら知っておいて損にはならないから、それらの具体例も挙げながら順次記していきたい。

### シリンダーカバー

(材 質) 特殊鑄鉄

(主な故障) 1. カバーの亀裂及び破損(鑄物巣、過熱、ピストンの突き上げ)

2. 吸排気弁の破損

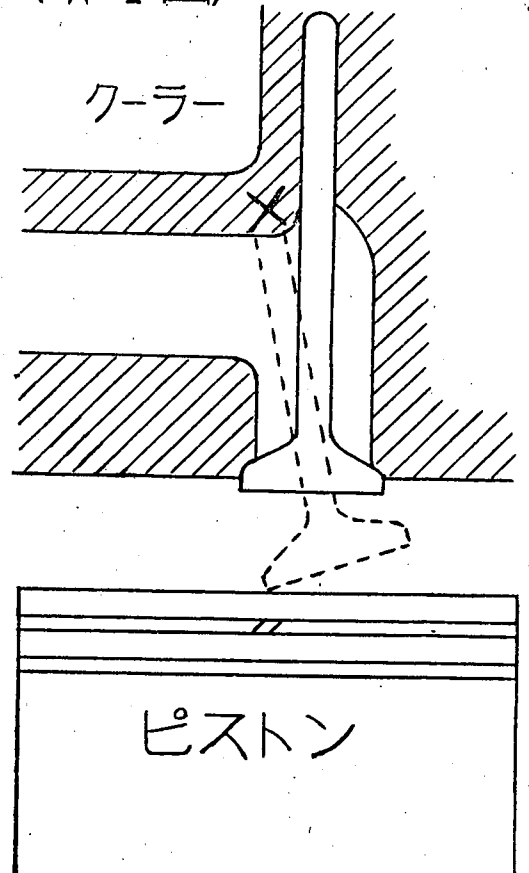
(説 明)

1については過熱これが最も多い。初めは目に見えないような小さな亀裂であっても、長時間運転やオーバーロード運転をつづけると、局部的に不等膨張をくりかえし、ついには破壊することになる。亀裂の生じやすいのは燃料弁取付孔附近で、とくに排気孔との間に多い。カバー内のクーラー部はシリンダー部と違って容積も小さく、その通路も複雑化しているの、スケール(水あか等)が附着しやすく熱の伝導をさまたげるため過熱を起しやすいのである。ディーゼルにはシリンダーに掃除孔がついているから、年に一度は開けて掃除し、冷却水の通りをよくしておくことが必要である。もっとも過熱しやすいのは排気弁及び同弁箱附近で、過熱と衝撃で亀裂や破損を生ずるのはこの部分が最も多い。またカバーの一部に亀裂が生じて外部へ水がにじみでるのは、一見わかるが、内部に亀裂が生じてもれているのは発見不

能であり、これがシリンダー内の爆発圧力によって押しかえされ、そのため冷却効果をさげ過熱を生ずることもある。電着等では龜裂を生ずる度に再三熔接して使用するため、その部分から腐蝕が広がり、ついには破壊してしまうことが案外多い。この場合熔接技術の巧拙にもよるが、あまりたびたび行なうことは危険である。その他、カバーの片締め、パッキンの厚さ不同等による歪みが原因で事故を起すこともある。

次に弁の折損であるが、これも上記の如く排気弁に多く、とくに弁のつけ根の個所から折れたり、また弁棒止めネジのゆるみから、弁がシリンダー内に落ちこみ、これをピストンで突き上げてカバーを破損することがよくあり、もっとも危険である。(別図1)その他弁ガイドのセンターが狂っていると不同磨耗を起して焼付を生じ、細く

(第1図)



# 八月の総漁獲量は七、八八三トン、内海の「たこ」は月別漁獲量の最高を記録

昭和三十六年八月の海面漁業による兵庫県の漁獲量は七、八八三トンで前年同月より五六五トン（八％）増加した。このうち他府県船による水揚げはわずかに二トンで京都の釣、はえなわ船と鳥取のしいら漬船が入港水揚げしていた。

海区域別には、日本海区域に九六一トンで前年同月より一九％過去五カ年の八月平均漁獲量より一五％それぞれ減少した。瀬戸内海区域は六、九二二トン（摂津海区域三、四七五トン、播磨海区域一、一五四トン、淡路海区域二、二九二トン）で、前年同月より一三％過去五カ年の八月平均漁獲量より三％増加した。また、日本海区域においては「あじ」および「しいら」が増加したが「いわし」および「するめいか」の減少がこれを上廻り、瀬戸内海区域においては、「いわし」「あじ」等多獲魚の増加に加えて「たこ」の増産が目立っている。

## 増加した主な魚種

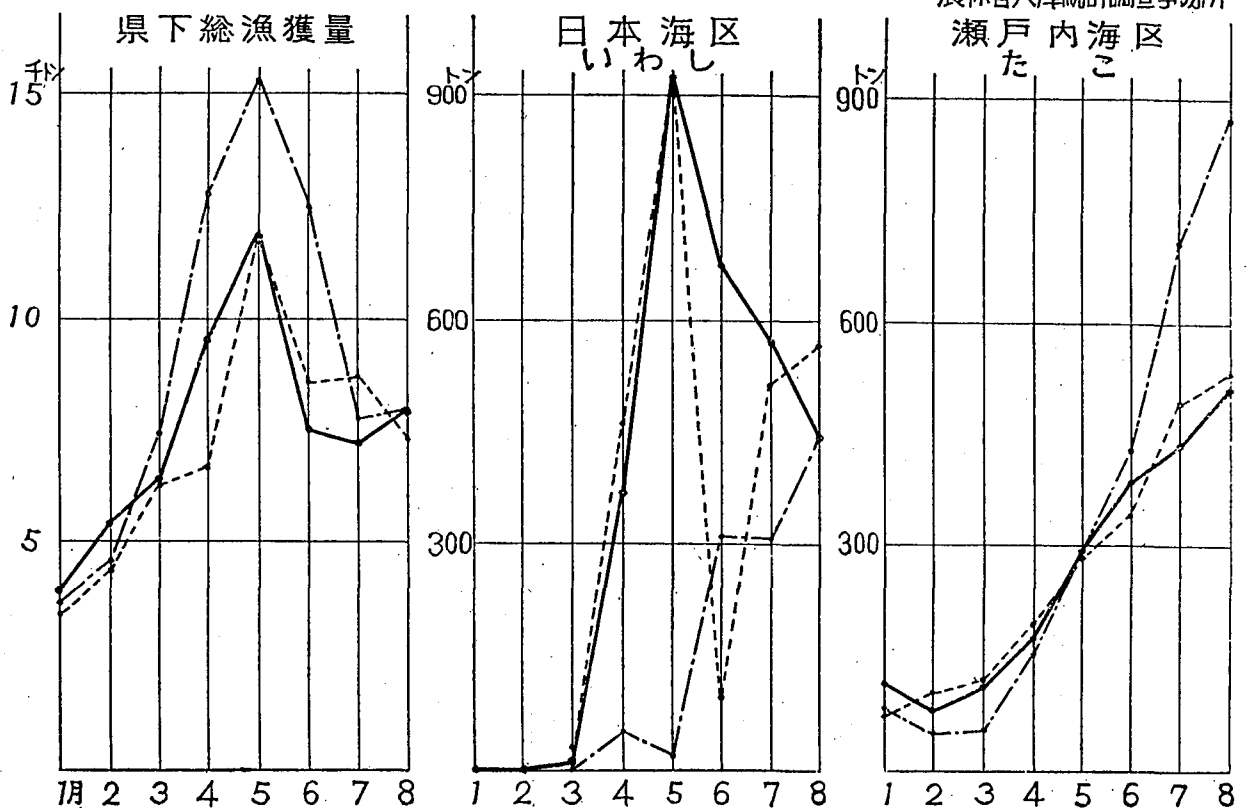
「あじ」の漁獲量は七五〇トン（日本海区域三〇六トン、瀬戸内海区域四四四トン）で前年同月より五〇％増加した。日本海区域の「あじ」は、きんちゃく網で八三トン、敷網で二二二トン漁獲され前月のわずかに二〇％にあたる漁獲であったが、前年同月より三三％過去五カ年の八月平均漁獲量より三〇％それぞれ増加した。瀬戸内海区域の「あじ」は船曳網をはじめ敷網、ます網等の網漁業および釣漁業によって漁獲され、前年同月より六五％過去五カ年の八月平均漁獲量より五〇％それぞれ増加した。「たこ」の漁獲量は八八五トン（日本海区域七トン、瀬戸内海区域八七八トン）で前年同月より六七％増加した。ことに瀬戸内海区域の「たこ」は過去五カ年間に於ける月別漁獲量の最高を記録し過去五カ年の八月平均漁獲量より約七〇％の増加であった。漁業別には小型底びき一九九トン、釣三一〇トン、たこ壺三六七トンの漁獲量で各漁業とも前年同月より増加した。そのほか「ぶり」は七三三トン、「しいら」は三六六トン、「かに」は九〇トンの漁獲量で前年同月にくらべると「ぶり」は約二倍、「しいら」「かに」は約三倍の増加であった。

## 減少した主な魚種

「いわし」の漁獲量は四、五八一トンで前年同月よりわずかに一％減少しているのみであったが、海区域別には日本海区域は四四一トン（「まいわし」三二二トン、「うるめいわし」六五トン、「かたくちいわし」五五トン）で前年同月より二三％減少し、瀬戸内海区域四、一三九トン（摂津海区域二、九六一トン、播磨海区域二、二〇〇トン、淡路海区域九四八トン）で前年同月より二％増加した。また、瀬戸内海区域においては摂津海区域は前年同月と大差なく、播磨海区域は約六〇％減少し、淡路海区域は約七〇％増加した。漁業別には、きんちゃく網で一、八八一トン、船曳網で二、二五五トンの漁獲量で両者とも前年同月と大差なかった。「するめいか」の漁獲量は四四四トンで前年同月の約二〇％にあたり、六月、七月の漁獲量にくらべると激減している。そのほか「まだい」は四二％、「さば」は六七％、「えび」は九％それぞれ前年同月より減少した。

本年の月別漁獲量と前年および過去5カ年平均漁獲量との比較

——— 過去5カ年平均  
- - - 本年  
- · - 前年  
農林省兵庫統計調査事務所





昭和36年 8 月の海面漁業漁獲量 (単位：トン)

海区 年次	県 総 計				日 本 海 区				瀬 戸 内 海 区				
	36年	35年	増減量	%	36年	35年	増減量	%	36年	35年	増減量	%	
魚種	7,883.5	7,317.8	565.7	108	961.6	1,180.6	△ 219.0	81	6,921.9	6,137.2	784.7	113	
総 数	7,883.5	7,317.8	565.7	108	961.6	1,180.6	△ 219.0	81	6,921.9	6,137.2	784.7	113	
魚	い わ し	4,581.8	4,626.6	△ 44.8	99	441.9	576.0	△ 134.1	77	4,139.9	4,050.6	89.3	102
	あ じ	750.5	499.7	250.8	150	306.0	230.9	75.1	133	444.5	268.8	175.7	165
	さ ば	25.5	76.8	△ 51.3	33	25.5	68.5	△ 43.0	37	0	8.3	△ 8.3	0
	ぶ り	73.7	35.7	38.0	206	9.3	0.7	8.6	143	64.4	35.0	29.4	184
	ひ ら め い	65.3	57.9	7.4	113	0.3	0.1	0.2	537	65.0	57.8	7.2	112
	え そ	41.8	45.8	△ 4.0	91	—	—	—	—	41.8	45.8	△ 4.0	91
	え い	4.7	2.4	2.3	193	0	0.1	△ 0.1	21	4.7	2.3	2.4	203
	と び う お	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	さ め	9.7	13.1	△ 3.4	74	—	—	—	—	9.7	13.1	△ 3.4	74
	は も	75.6	60.6	15.0	125	—	—	—	—	75.6	60.6	15.0	125
	ま だ い	15.8	27.3	△ 11.5	58	3.1	2.0	1.1	158	12.7	25.3	△ 12.6	50
	さ わ ら	0.9	5.4	△ 4.5	17	—	—	—	—	0.9	5.4	△ 4.5	167
	ほ ら	33.2	39.9	△ 6.7	83	—	0.2	△ 0.2	—	33.2	39.7	△ 6.5	84
	す ず き	27.3	20.6	6.7	133	1.8	1.3	0.5	136	25.5	19.3	6.2	133
	し い ら	36.0	10.7	25.3	336	36.0	10.7	25.3	336	—	—	—	—
	あ な ご	52.7	42.6	10.1	124	0	—	0	—	52.7	42.6	10.1	124
	その 他 の 魚	442.8	405.8	37.0	109	23.9	23.6	0.3	101	418.9	382.2	36.7	110
	(魚類計)	6,237.4	5,970.8	266.6	104	847.9	913.9	△ 66.0	93	5,389.5	5,056.9	332.6	107
水 産 動 物	す る め い か	44.5	200.2	△ 155.7	22	44.5	200.2	△ 155.7	22	—	—	—	—
	そ の 他 の か	85.8	81.4	4.4	105	51.1	60.7	△ 9.6	84	34.7	20.7	14.0	168
	た こ	885.4	528.7	356.7	167	7.1	2.2	4.9	331	878.3	526.5	351.8	167
	え び	374.6	411.0	△ 36.4	91	—	—	—	—	374.6	411.0	△ 36.4	91
	か に	90.8	26.4	64.4	344	—	—	—	—	90.8	26.4	64.4	344
	な ま こ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他 の 水 産 動 物 (水産動物計)	2.4	—	2.4	—	—	—	—	—	2.4	—	2.4	—
貝 類	155.7	95.3	60.4	163	10.4	3.6	6.8	288	145.3	91.7	53.6	158	
藻 類	7.0	4.0	3.0	176	0.7	—	0.7	—	6.3	4.0	2.2	158	

(注) △は減 0は漁獲量50kg未満 (50kg以上は100kgに切上げ)

# われらの漁民銀行

## 兵庫県信用漁業協同組合連合会

会 長 島 田 文 治 郎

本 所 兵庫県立水産会館内 直通電話⑥0193  
但馬支所 香住町中浜頭 香住125

# 購 買 品 は 漁 連 て

## 兵庫県内海漁業協同組合連合会

会 長 三 浦 清 太 郎

本 部 兵庫県立水産会館内 直通電話⑤3424-5  
明石油槽所 明石市船町 明石3207  
富島油槽所 北淡町富島 富島 66  
飯屋出張所 淡路町飯屋 飯屋 59

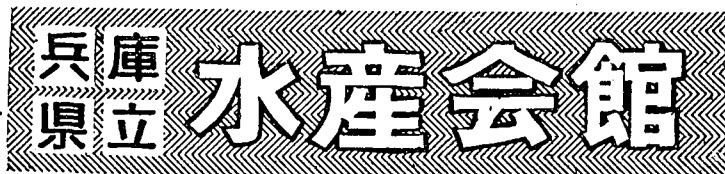
# 購 買 品 は 系 統 利 用

## 但馬漁業協同組合連合会

会 長 西 上 重 式

城崎郡香住町香住 電話香住 154

神戸市兵庫区  
新在家町



電話⑤8301(事務所)

電話⑤9563(宿泊所)